

Interior Lifestyle Tokyo

会期：2018年5月30日（水）-6月1日（金）

会場：東京ビッグサイト 西1・2・3・4ホール+アトリウム

時間：10:00 - 18:00（最終日は16:30まで）

今年も、秋冬商戦に向けたインテリア・デザインの国際見本市「インテリア ライフスタイル」が東京ビッグサイトで開催されます。このイベントは、世界30カ国・地域から、デザイン性の高いジュエリー、ファッション雑貨からキッチンツール、フード、ハイエンドな家具に至るまで、衣食住と日々の生活にまつわる様々な分野のプロダクトのデザイン、製造、販売を行う出展者約800社が参加するインテリア・デザインの総合見本市です。国内外より約30,000人もビジネス来場者が訪れ、人、モノ、情報を通じたさまざまな出会いが巻き起こります。見所のひとつ、毎年テーマを変える「アトリウム特別企画」では、ディレクターにデザイン市場で経験豊かなバイヤーである（株）メソッドの山田遊氏を迎え、ともに新しい商談の場作りを試みます。文化、伝統、現在、未来、デザイン、アイデア、技術、コミュニケーション…あらゆるものが集まる場。つくる人、売る人、仕入れる人、伝える人など、出展者も来場者もここに集まる人がフラットな関係で、出会い、交流できる場。トレードショーではありますが、いろいろな角度から見てみると、モノを売る・買うというだけではない、それぞれの立場にとって、また生活者にとって多くの発見がある場所です。ぜひ注目いただけますと幸いです。

※メッセフランクフルト ジャパン（株）は、6月に「インテリア ライフスタイル」を、11月に（一社）日本家具産業振興会との共催で「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」を開催しています。どちらも家具から小物、雑貨まで衣食住に関わる商材を持つ出展者が集まる「ライフスタイル提案型」のインテリア・デザインの総合見本市。ドイツ・フランクフルトで開催される世界最大級の国際消費財見本市『アンビエンテ』とホームおよびコントラクトテキスタイル国際見本市『ハイムテキスタイル』の2つを母体とする姉妹見本市です。

会場構成

1. アトリウム特別企画



毎年テーマを変える「アトリウム特別企画」と12のゾーンで構成しています。

「For Here or To Go?」

アトリウム・ディレクターには、デザイン市場で経験豊かなバイヤーである(株)メソッドの山田遊氏を迎え、ともに新しい商談の場作りを試みます。テーマは、「For Here or To Go?」。海外のファーストフード店やコーヒースタンドでもお馴染みのこのフレーズは、ここで食べるか、持ち帰るかという意味ですが、商談をここで結めるか、社内で会議するか、とバイヤーの意識を問い直すテーマ。見本市は、ものを見るだけでなく、話をすることが大事であるとの考えのもと、バイヤー、商社、メーカー、デザイナー、プレスなど出展者と来場者が気軽に会えて、世間話や挨拶が買い付けや企画に繋がっていくような、ものところが絶妙なバランスで共有できる場所をイメージ。出展商品の導入を検討しやすい工夫や、ものが生まれる前段階でのアイデアや情報のトレードもしやすい環境作りで、今後の合同展示会の理想形を目指します。会場構成はシンプルに、実際の店舗づくりと同じように間口を広げて奥行きを浅くして、来場者がさっと歩くだけで商品が見れるようなブースに、家具、インテリア小物、テキスタイル、ファッションアイテム、フードなど暮らしを彩る様々なアイテムが並びます。中央にはテーブルが用意され、物をきっかけに話ができるような構成に。会期中は、山田氏自身のオフィスをアトリウム会場に移し、様々な出会いや交流を体現していく予定。

山田 遊:南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method(メソッド)を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。グッドデザイン賞審査委員など各種コンペティションの審査員や、教育機関や産地などでの講義・講演など、多岐にわたり活動中。主な著書に『別冊 Discover Japan 暮らしの専門店』『デザインとセンスで売れる ショップ成功のメソッド』。

2. HOME

新たな住まいのスタイル提案

国産家具から海外ブランドまで幅広いラインナップの中から、住まいの世界観を変える、多様なテイストの家具、照明、テキスタイルなどが見つかります。

3. ACCENT

暮らしに新たなアクセントを

デザイン雑貨、ギフトアイテム、アート&オブジェ、フレグランス、服飾雑貨、ステーションナリー、デジタルガジェットなど、生活に「アクセント」を加える幅広い商材が集まるゾーン。

4. EVERYDAY

美しい暮らしの生活用品

収納や整理のためのアイテム、水まわり品、新しい家事習慣、ホームケアのための毎日の生活用品が揃います。

5. KITCHEN LIFE

食卓から料理まで新たなシーンを

上質なテーブルウェアから最新のキッチン道具、ダイニング道具まで、住まいの中心となったキッチン空間のためのアイテムが揃います。

6. GLOBAL

世界各国のブランドが集結

日本にいなから海外のブランドやものづくりと出会えるゾーン。インテリア、デザインの世界的な動向が見えてきます。

7. JAPAN STYLE

日本のデザインとものづくりを発信

日本国内だけでなく、ヨーロッパやアジアからも注目されている日本のプロダクト。特に洗練された、質の高い日本のプロダクトが並びます。

8. NORDIC LIFESTYLE

上質な北欧のライフスタイル

スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドなど日本で根強い人気の北欧ライフスタイルブランドが集結。テキスタイルから小物まで様々なカテゴリーの商材が並びます。

9. MOVEMENT

最新デザインの動向を反映

国内外で高く評価されているコンテンポラリーなデザインブランドが勢揃い。

10. NEXT

ステップアップのためのサポートプログラム 1

注目の若手起業家による新規ブランド発信の場。次世代を担うデザインプロダクトを発表します。

11. TALENTS

ステップアップのためのサポートプログラム 2

今後世界にはばたくであろう、新進気鋭のデザイナーと企業を結ぶプラットフォーム。

12. FOODIST

ステップアップのためのサポートプログラム 3

国内外のこだわりあるライフスタイルに溶け込む多様な食の提案の場。

13. JEWELRY- selected by gallery deux poissons 注目のジュエリー特別企画

森和彦氏(ギャラリードゥポワソン)のセレクトによる、個性的なジュエリーブランドが集結。

AWARD

「インテリア ライフスタイル」が企画する2つのアワード。



Best Buyer's Choice 2018

小売業、卸売業界で名バイヤーとして活躍する人物を招き審査を行い、出展者の中から1組が選定されます。今後のバイイングの指標ともなるアワードです。

審査員：大野賢二氏（株）コンランショップ・ジャパン 執行役員 商品部 部長）

Young Designer Award

若手デザイナーを支援する特別ゾーン「NEXT」「TALENTS」から選定されます。受賞者はドイツ・フランクフルトで翌年2月に開催される、世界最大級の国際消費財見本市『アンビエンテ』へご招待します。約14万人の来場者に対して自身の活動や作品をアピールするチャンスの方が広がります。

審査員：ニコレット・ナウマン（Messe Frankfurt GmbH アンビエンテブランド総責任者）

※本 Award は会場内「LIFESTYLE SALON」のステージにて開催予定です。「LIFESTYLE SALON」のその他のプログラムはこちら <http://u0u0.net/Jz7Z> よりご覧ください。

出展者情報

NEW!

初出展のブランドやプロダクトも続々



リビング・モティーフ

東京

www.livingmotif.com

ゾーン：NORDIC LIFESTYLE A-15

初参加となる Living Motif から、シンプルでスタイリッシュなスウェーデンの家具ブランド「MASPRODUCTIONS」を出展。家具のコンサルタント業で経験を積んだ二人のデザイナー、イギリス人のクリス・マーティンとスウェーデン人のマグナス・エルヴァックが立ち上げ、設計はもちろん資材調達、製造工程など全てのプロセスにデザイナーが関わることで実現した、無駄のない構造美と優れた機能性が特徴。部屋の片隅を彩る家具から、空間を豊かに演出する家具まで幅広いラインナップ。



ChiHong

台湾

www.chihongcasa.com

ゾーン：NEXT C/N-01

ChiHong はデザイナー 莊 騏鴻 (Chuang Chi-Hong) が 2013 年に設立し、台湾を拠点に置く、家具や照明などのインテリアブランド。日常生活からインスパイアされたシンプルかつリラックスしたデザイン。ベーシックな機能性ながらもユーザーが自分なりの使い方を見出し、その空間を自由にできる柔軟さをもつことを意識している。使用する素材は、金属、木材、大理石などの天然素材をベースにし、再利用も可能。今回出展のスツールは座面が浮いているように見える。中央の隙間は、雑誌、書籍などを入れることができ、機能性も考えられている。



FIEL

福岡

www.fiel.jp

ゾーン：アトリウム S-01

木工や鉄工の技術が集積している福岡で創業 80 年の家具メーカー MARUSO が、質の良い素材を組み合わせて、自由でクリエイティブなデスクを提案するデスク専門ブランド【FIEL】。昨年の ILT/YOUNG DESIGN AWARD を受賞した DAYS. 西尾健史がデザインする自由度の高いスチールレッグ「Takeshi」を製品化。天板を乗せてデスクはもちろん、重ねるとシェルフ、板を渡せばベンチ、キャスターを付ければワゴンに。アイデア次第でその使い方は、プロダクトそのものだけではなく空間さえも変化させるアイテム。



KORAI / (株) HULS

東京

koraikogei.com/jp

ゾーン：JAPAN STYLE D-79

東京とシンガポールに拠点をもち、日本の工芸品を海外展開する (株) HULS。世界の都市で暮らす人々のための日本工芸ブランド KORAI を発表。プロダクトデザイナー 辰野 じゅんが、日本の「夏の涼」をコンセプトに、国内の様々なメーカーと一年以上の歳月をかけて作り上げてきた。初コレクションは、京都の竹細工、佐賀のビードロガラス、有田の磁器、富山のガラス作家によるアートピースからなる清涼感溢れるティーセットを提案。



TOKIIRO

千葉

www.tokihiro.com

ゾーン：NEXT D/N-04

多肉植物に特化したアレンジを提案するユニット TOKIIRO。屋内では光量不足でほとんど育たない多肉植物を身近において楽しめるように、植物が光合成に必要な光の量 PPFD を考慮した光の森を制作。多肉植物の個々の魅せる動きを一つの空間に創作し演出する TOKIIRO のアレンジメントと、植物を屋内で生育するための光の装置を融合した TOKIIRORIUM を発表。日常の中で植物、自然を感じることもできるアイテム。

技術が生み出す新しい価値



(株) MGNET

新潟

mgnet-office.com

ゾーン：アトリウム S-28

新潟県燕市で、1978年創業・武田金型製作所から生まれたブランド「mgn」。「工場の祭典」などファクトリーが注目される中、今一度原点に立ち返り、表現したいことを見つめ直しリブランディング。同社のもつ高精度の金型技術にエレガントでファッショナブルな世界を繋ぎ、人々の心に共感を生むファッションブランド「FOR」として再スタート。本展で初お披露目となる。「FOR」のアイテムは、ミクロンレベルで仕上げられた金型によって美しさと上質さを形にしており、第一弾として、その技術を活かした、スリムで精巧な金属製のカードケースを発表。



(公財) 高知県産業振興センター
高知

www.joho-kochi.or.jp/mono

ゾーン：EVERYDAY E-42

1919年創業、金属加工技術の研究とステンレス鋼材、複合鋼材処理など技術力と品質で国内外から高く評価を受ける土佐刃物を代表するメーカー穂岐山刃物。IHIとの共同開発で生まれた切れ味が自己再生するキッチンナイフ「SAKON+」を発表。航空宇宙エンジニアリング技術として開発された新加工法で、超硬質粒子を鋼材の中にブレンドさせ、包丁を使用することで新たな粒子が刃先に出現し、鋭い刃が自生する効果をもたらす。従来の刃物にはない驚異的な切れ味と刃持ちの良さを実現。日米の特許取得。欧州は特許審査中。



大成紙器製作所 / TAISEI (株)

大阪

www.taisei-p.co.jp

ゾーン：アトリウム S-02

1919年創業、大阪を拠点とし、紙箱や紙管を中心とした印刷・加工会社。2017年に創業時の社名を掲げ、紙の道具『紙器具』を提案するブランド『大成紙器製作所』を立ち上げた。『紙器具』とは、紙が私たちの暮らしに寄り添う道具であると考え、「伝える・収める・設える」を理念として、作られていく日用品。デザインを手がけるUMA/design farmと共に、紙から生まれる文化を耕し、使い手と作り手を繋げる試みを目指している。



1 PLATE PRODUCTS

広島

www.1plateproducts.jp

ゾーン：アトリウム S-27

1 PLATE PRODUCTSは、精密機械加工を得意とする新中央工業(株)が、航空機や自動車のパーツ加工で培った技術と硬度のある特殊な素材を用い、日常生活に役立つデザインプロダクトの開発を目指し、生まれたブランド。2016年に発表された一つの小さなマルチオープナーからブランドがスタート。1枚のプレートから変化する様々なプロダクトは、ミニマムな素材とデザインにより作られている。それは簡単で機能的、毎日のために考えられた楽しいかたちを提案。



(株) 三暁

広島

sangyoco.co.jp

ゾーン：HOME J-54

広島県福山市の鞆の浦で1951年に漁具などを作る鍛冶屋として創業した鉄工所。鍛冶屋の技術と機械での切削加工技術を組み合わせ、吊橋やクレーン部品、建築部材などの金属製品を作り続けてきた。2010年より、その技術を家具分野に展開。2016年、高い自由鍛造(金属を焼いてたく)技術を持ちながらも高齢化の為廃業を決めた錨(いかり)製造業者から設備と技術を受け継ぎ、最新技術と自由鍛造技術を組み合わせ、家具に展開。「家具作りをサポートする鉄工所」として、独自の技術で他にはないデザインを具現化する。家具の他、アウトドアやキッチン用品なども対応。

ETHICAL

ものと、人と、社会の関わり



mills

東京

millstudio.jp

ゾーン：NEXT C/N-03

日本の古布、ヨーロッパのアンティークテキスタイルなど、土地に根付いた技法や人の手によって作られたファブリックの美しさ、力強さに魅了され、各地に点在する工房や職人のものづくりを通して、伝統と技法を未来へ繋いでいくことを目指し活動をするmills。本展では、インドの手紡ぎ手織りの生地に、インド、ハンガリーのインディゴ染め、日本の絞り染めを用いたインディゴシリーズのホームアクセサリーアイテムを紹介。全てハンドメイドにて1点1点丁寧につくられた環境に優しいエシカルなブランド。



NPO 法人ディーセントワーク・ラボ
東京
decentwork-lab.org
ゾーン：MOVEMENT I-20

障がいがある人、ない人に関わらず、全ての人は素晴らしい個性を持っている。つくる人はその個性を活かしたもののづくりを、つかう人はその個性に合ったものを選ぶ、全ての人の個性が平等に輝ける社会のために、ものを通じて、つくる人とつかう人をつなぐプロジェクト equalto (イクォルト)。障がい者の経済的・社会的自立の実現を目指し、クリエイティブの力を通じて、消費者にとって付加価値が高く、かつ「作り手にとってのバリアフリー」な商品を生み出している。新商品の「My Diffuser パーソナルディフューザー」などをはじめ、ペン立て、キーホルダーなどデザイン小物を展開。



more trees
東京
www.more-trees.org
ゾーン：アトリウム S-06

国産木材の有効活用に取り組み、プロダクト開発などを通して「都市と森をつなぐ」をキーワードに活動を展開する森林保全団体 more trees。設立 10 周年を記念して 2017 年に発表された特別な「スツール」を出品。more trees の活動に通じる「つなぐ」をテーマに、ジャスパー・モリソンと熊野亘が共同でデザイン。シングル、ダブル、ロングの 3 つのサイズがあり、組み合わせや発想次第でさまざまなシーンでの利用が可能。more trees のいままでとこれから、そして世界中の人々と森をつなぐ架け橋となるプロダクト。



プチ ダカール
兵庫
www.akubi-web.org
ゾーン：ACCENT G-24

西アフリカ・セネガル共和国で生まれたインテリア・デコブランド PETIT DAKAR。元々欧州で子供服の古着バイヤーをしていた創業者が、セネガルのバスケットに魅了されスタート。現地で 1 点ずつ手作りされている HAND WOVEN CHAIR は、溶接された金属フレームにナイロンのヒモを使って編まれ、堅く編まれたヘリンボーンステッチが耐久性と快適な座り心地を生み出す。エレガントなデザインはテラスやバルコニーだけでなく、ホテルロビーやグランピングスペースなど商業施設用にもフィット。現地の貧困緩和、雇用機会の創出を目指している。



(株) ダッドウェイ
神奈川
www.dadway.com
ゾーン：ACCENT G-36

「お父さんの子育てをもっとおもしろ楽しくしたい」という理念のもと、世界中から優れたベビー、キッズ用品を企画・輸入販売するダッドウェイ。今回出展する「Tegu/ テグ」は、ホンジュラス製の木とマグネットが融合して生まれた、子供の創造力を育む新しい積み木。磁石が入ることで縦・横・斜め、様々な方向に繋がり、イマジネーションを容易に形にしやすい。貧しい生活を強いられているホンジュラスに生産者の雇用を創出し、社会貢献にも繋がる取り組みでもある。

INTRODUCE

日本に伝えたい世界のものづくり



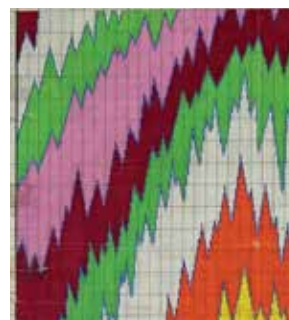
(同) ラボーラ (東京)
ポルトガル・バスク・アイルランド
www.labora.co.jp
ゾーン：アトリウム S-19

日常の生活にささやかな幸せを予感させるものを世界中から届けるラボーラから 3 つを紹介。ポルトガルのアレンテージョ地方で、16 世紀から伝わる技術と図案を当時のままの手織りで作り続けられているラグ「ファブリカアレンテジャーナデラニフィシオス」。フランス・バスク地方で唯一、伝統的な製法で作られるバスクリネン「ONA-TISS」。アイルランド南東部ダンカノン村でハンドニットの編み手による様々なソフトイのシリーズ「DUNCANNON」。職人の技巧と物語に根ざしている、ユニークなものを現代の生活に提案している。



PAPIER TIGRE
フランス (東京)
papiertigre.jp
ゾーン：アトリウム S-05

2011 年パリ・マレ地区で誕生したコンテンポラリーなステーションナリーブランド「パピエ ティグル (PAPIER TIGRE)」。カラフルで独創的なグラフィックが特徴で、主に紙を素材に、毎日の暮らしの中のさまざまなシーンで楽しく活躍するプロダクトを展開している。昨年パリに続き 2 号店を、東京・日本橋浜町にオープン。本展では、新作の手帳などオリジナルコレクションの他、日本のものづくりとコラボレーションした新作プロダクトを発表予定。会期中はフランスから創業メンバーも来日予定。



ホームステッドリミテッド
イギリス (東京)
www.homesteadltd.com
ゾーン：アトリウム S-21

20 世紀半ばのヨーロッパ、イギリス、アメリカの偉大な建築家やデザイナー、芸術家、作家からインスピレーションを受けて生まれたイギリスのテキスタイルブランド「THEN」。1950~70 年代にイギリスの家具用のファブリックを生産していた工場から、当時の柄のアーカイブが見つかり、ジャカードのパターン生地を復刻。アパレルのラインに続き、椅子やソファの貼り地、カーテンなどインテリアテキスタイルを提案。生地での計り売り、柄のライセンスを含めた提案を行う。



(株) グラストンベリー
イギリス (東京)
glastonbury-ltd.com
ゾーン：アトリウム S-22

1939年に英国で創業したTOOLS OF COVENTRY。英国軍パラシュート部隊用のハーネスを作り始めるところから始まり、英国の伝統的な製法と概念を受け継ぎながら金属をベースにしたものづくりを得意とする。1970年代から英国軍の要請で、MOD向けにフォールディングチェアを生産し始め、近年では自転車メーカーのPashley(パシュレー)のフレーム部分を請け負っている実績もある。座面・背面にはHalley Stevenson's(英国老舗生地メーカー)のワックスコットンを使用し、生産背景を含め、当時のフォールディングチェアを英国製で完全複製。日本初上陸となるブランド。



(株) ドゥーブルアッシュ
フランス (東京)
www.doubleh.jp
ゾーン：アトリウム S-46

1987年創業のベルギー生まれのインテリア・デコレーションブランド「SERAX(セラックス)」とバリの「Merci(メルシー)」がコラボレートし、誕生したテーブルウェアコレクション【LA NOUVELLE TABLE(ラ・ヌーヴェル・テーブル/新しい食卓)】。現代のライフスタイルに共鳴し、シンプルで機能的でありながら一味違ったコレクションは、自由に組み合わせて使用することで食卓を美しく引き立て食欲を高めてくれる。

ものが生まれるさまざまな背景



ツェラミカルティスティチナ/
(株) リアクセント
ポーランド (神奈川)
ceramika-art.jp
ゾーン：KITCHEN LIFE F-16

ポーランドを代表する老舗ブランド。Ceramika Artystyczna社(ツェラミカルティスティチナ)社。ポーランド南西部シレジア地方に位置する陶器の町、Boleslawiec(ボレスワヴィエツ)にある最大級の窯元。歴史は長く、起源は中世と言われ、1893年に前身組織が結成された。窯元の最大の特徴は上級職人の多くが女性であり、一つひとつ丁寧な手仕事で作り出す品質の高さ。欧米でも高く評価されている。絵付けはスポンジのスタンプと手描きを組み合わせ、伝統的なものからモダンなオリジナルまで多種多様。



A Matter of Difference
台湾
www.instagram.com/amatterofdifference
ゾーン：MOVEMENT I-06

台湾のデザイン事務所Hank and Maxwell Design Studioが立ち上げたプロダクトブランド“A matter of difference”。台湾の「ファッション」、「日常」、そして「工芸」を改めてシンプル、かつ活力の溢れる形で見せる。家具や装飾品の規定のイメージを破り、台湾発信の3つのブランドが生活空間にあるプロダクトについて、独特でバランスのいい楽しみ方を提案する。左写真「Leather Plants」は、台湾の植物の質感を、野菜で染色したレザーと革成形技術を用いて表現。フレグランスの機能もあるデスクトップサイズから、インテリアを彩るものまでサイズも多様。



MATHERuBA Foods
鹿児島
www.ikiyasooobou.com
ゾーン：FOODIST F/F-08

建設会社(株)粹家創房は、お客様との交流場であり、地元鹿児島作家や生産者と共に、鹿児島のものづくりを広めるべく、桜島が望める丘の上に事務所に併設してカフェとライフスタイルショップをオープン。カフェのメニューはもちろん、鹿児島産を中心に300種類の商品を扱う。その中で人気商品の一つオリジナルドレッシング“DRESS with VEGE”は、「鹿児島をこく、ふかく」をテーマに、鹿児島の旬の野菜を旬の時期のみに、鹿児島の調味料を使用し、丸ごと鹿児島の味を作り出している。家づくりを通して、鹿児島の人と地域と文化をつないでいる。



(株) ぶんぶく堂
千葉
www.punpukudo.jp
ゾーン：ACCENT H-62

千葉県市川市で、夕方5時から開店する小さい文具店「ぶんぶく堂」。手のひらサイズの軽量用箋挟「ミニッパチ」、竹100%で作った竹紙大学ノートを発表。写真は、2017年「第26回・日本文具大賞・優秀賞」を受賞した「あなたの道具箱」。50年持つと言われる“パスコ”という硬質紙を用いて職人が一つづつ手作りしている。長く大事に使って欲しいという想いが込められたアイテム。



Jino / Crown Clown Inc.
東京
jino-toy.com
ゾーン：NEXT C/N-15

美術館などでしか体験できなかった現代アーティストの発想を、暮らしの中で再現するというコンセプトのもと、玩具として提案するJino。アーティストが考案したたった一つの特徴形状のピースから、無限の組み合わせを作り出せ、インテリアアクセサリーとしても楽しめる、玩具の枠を超えたクリエイティブガジェット。木製でありながら0.1ミリ単位で設計図の調整を行った緻密で工芸品的な加工は、奈良の桶作りの技を受け継ぐ「ダイワ産業」によるもの。安全性を考慮し、国産オイル自然塗料「LOHAS OIL」を使用。

100年企業 歴史、その先に



(株) タケヤリ
岡山
www.takeyari-tex.co.jp
ゾーン：MOVEMENT I-05

1888年創業、帆布の産地倉敷で最も長い歴史をもつ、帆布に特化した老舗機屋。機屋にとって核になる織機。同社にしか現存しないベルギー製のシャトル織機など、工場には新旧の織機を完備。難しいとされる極厚の帆布や、合織の帆布と用途によって作り分けられ、また独特の風合いを可能にする。アパレルだけでなく、インテリア、産業資材まで製造。創業130周年を迎える今年、新たな取り組みとして Japan creative と気鋭のデザイナーとの3社コラボによる新しいインテリア商材を発表。旧式織機によって最新のデザインを作り上げる。



SEKISAKA
福井
www.sekisaka.jp
ゾーン：アトリウム S-53

1701年に木製漆器で創業した老舗メーカー。現在は主に学校給食や機内食、医療機関等で使用する業務向けのプラスチック製食器の企画、製造を行う。2017年に新しいプロダクトブランド「SEKISAKA」をスタート。Industrial Facility (Sam Hecht & Kim Colin) や Oy、MUTE などの国内外のデザイナーとの協働で商品開発を行う。時代の変化に応じて、様々な製造技術が存在する多様性のある産地へと大きな変化を遂げた鯖江市の漆器産業。それらの製造技術を新たな視点で再解釈し活用することで、現代のライフスタイルを向上させる新しい製品づくりを目指す。



(株) 杉工場
福岡
www.sugikouba.com
ゾーン：HOME K-20

林業・製材業の盛んな福岡県うきは市で、1886年に創業。明治中期より家具製作を始め、筆筒など木製家具から、生徒用机・椅子、跳び箱などの製造も行ってきた杉工場。同社が豊かな暮らしのために考えた家具「K&K replica series」を発表。国も年代も異なるアノニマスな名品をベースに現代の暮らしに合わせてリデザインし、国産の木材を使い、1本ずつ手仕事により仕上げられたシリーズ。子どもが大人になるまで使う。年とともにメンテナンスを重ね、次の世代へ譲る。そんな循環を生みたいとの願いが込められている。



谷川醸造 (株)
石川
www.tanigawa-jozo.com
ゾーン：FOODIST F/F-02

石川で明治38年に酒造業で創業し、大正7年からは醤油・味噌作りをスタートした老舗。地元では「サクラ醤油」という名で親しまれ、若い世代にも靴を身近に感じてもらえるような商品開発にも力を入れている。時代の流れとともに、醤油を原材料から仕込むところが少なくなっているなかで、強い思いを持って、原料、仕込みとこだわりの醤油を作り続ける。今回は、醤油、味噌のほか、ディップソースやおかず味噌などの加工品を出展。



廣田硝子 (株)
東京
www.hirota-glass.co.jp
ゾーン：JAPAN STYLE D-49

1899年創業、東京で最も歴史のある硝子メーカー。創業より社に伝わる貴重なデザイン資料を元に、江戸切子や吹き硝子など脈々と受け継がれる、手仕事による伝統的硝子製造を継承し、現代のインテリアに調和するプロダクトを作り続けている。新製品「WAYOU」は、墨田区と台湾デザインセンターによる「ものづくりコラボレーション」によりできたもの。台湾のデザイナー黒生起司と同社が共同で新商品開発を行った。台湾と日本の共通の食文化である「かき氷」から着想。かき氷の容器として、盛り付ける内容によって使い方をカスタマイズでき、和洋のメニューにも対応。



(株) 角田清兵衛商店
和歌山
www.seibee.co.jp
ゾーン：JAPAN STYLE D-62

1830年創業の紀州漆器の専門店。樹脂製品などのイメージが強い紀州漆器の中で、木製品を中心にものづくりをしている。今回、材料から製造まで和歌山産にこだわり、紀州絵をくり抜いて作ったお弁当箱を出展。塗装はナノコート（ガラス）をコーティングしているため、汚れが付きにくく、汚れが落ちやすいのも特徴。堅牢であると共に、接着面が無いため食器洗浄機対応。



(株) ぶんぶく
東京
www.bunbuku.co.jp
ゾーン：EVERYDAY E-22

金属製のオフィス備品を製造・販売する(株)ぶんぶく。今年創業100周年を迎えた老舗。代表的な商品であるテーパーバケツは発売以来60年変わらぬ形づくり続けている。各部品は溶接せずにカシメ加工で接合しているため、腐食しにくく堅牢。胴体のリブが強度を確保し、重ねても深くはまらず外しやすい。縁は一枚板で鉄板の継ぎ目を覆っているのでストックングが触れても傷つけない。床を傷めない樹脂カバーも採用。成型、組立、塗装をすべて自社工場に行っているのも特徴。スチール家具全盛期のグレー他、日本の事務器の流行にならった全3色展開。

ジュエリーやファッションアイテムも豊富



(株) アンドウミ

東京

www.un-demi.com

ゾーン：ACCENT G-23

知的な愛らしさと、クラシック＆モダンテイストのレディースブランド〈アンドウミ〉のレッグウェア。シーズン毎のトレンドを意識し、スタイリングのアクセントになるレッグウェアを展開。ビジーやファーを使ったアクセサリ感覚のもの、スパンコールやチュールなど今を感じる素材など、新しい目線でのレッグデザインと履き心地を追求している。



ASEEDONCLOUD

東京

www.aseedoncloud.jp

ゾーン：NEXT D/N-06

Handwerker(ハンドベーカー)とはドイツ語で“職人”の意味。空想の職業から生まれ出る特別な生活着やワークウェアを作り続ける ASEEDONCLOUD から派生したコレクション。今回展示するエプロンは、様々な職業の人が思いおもいに使用出来るようポケット等のディテールも考慮。ベルトやリボンで調整し、普段着としても提案できるユニセックスアイテム。岡山産の帆布など、生地にもこだわり、プロユースとしても、また、未来のヴィンテージにもなりうるウェア。



ディー・エム・シー(株)

東京

www.dmc.com

ゾーン：アトリウム S-25

創業 272 年フランスの老舗手芸糸メーカー。刺繍糸をメインとし、ハンドメイド素材や関連アイテムを全世界に発売。現在ハンドメイド業界で注目を集めるアップサイクルTシャツ糸「Hooked Zpagetti」の取扱の他、グループ企業である WOOL AND THE GANG の国内総代理店として 2018 年より日本進出。イギリスのファッションデザイナー Jade が立ち上げた英国発の D I Y ニットブランド「WOOL AND THE GANG」。コレクションブランド出身のデザイナーが生み出す、これまでの手づくりの概念を覆すクールでハイクオリティなニットアイテムキットを提案。



bubun

神奈川

bubun.works

ゾーン：JEWELRY C/J-07

陣信行と陣めぐみによる 2016 年スタートのコンテンポラリージュエリーブランド bubun。ガラスやヌメ革など原始的なルーツを持った素朴な素材を用いつつ、シンプルで現代的なジュエリーを提案している。今回出展する「organ」は、“器官”を意味する言葉で、粒状のガラス片を膜のように平面的に編み上げて、大小さまざまな形状のピアスを展開している。



a ka ri

岐阜

<http://a-ka-ri.info>

ゾーン：JEWELRY D/J-02

岐阜県多治見で陶芸を学んだデザイナー佐藤朱理による、磁器土を素材としたコンテンポラリージュエリーブランド。言葉を組み合わせ、詩を紡ぐように、シンプルなモチーフを繋ぎ構成することで形の新たな魅力を引き出し、身に着けることで完成する美しさを目指す。作品は原型デザイン、型おこし、制作、焼成まですべての作業を一人の手作業によりひとつひとつ作られている。

気持ちよく暮らすホームケアプロダクト



フレディ レック・ウォッシュ

サロン / (株) 藤栄

東京

www.freddy-leck-sein-waschsalon.jp

ゾーン：EVERYDAY E-07

ドイツ・ベルリンと東京にあるカフェ＆コインランドリー「フレディ レック・ウォッシュサロン」。“前向きなココロとライフスタイルがつかれるようなモノ、コトをランドリーシーンから”をモットーに、コインランドリーをただ洗濯をする場所としてだけでなく、人々の交流が生まれる場へと新たな提案で注目を集める。自宅の洗濯ももっと楽しいものにと、サロンにあるワクワク感を表現するデザインと機能性の優れた実用的なランドリーアイテムを展開。本展では、新作として、デニム、ニット、スニーカーと衣類に適したつけおき洗剤 SOAK WASH SERIES (ソークウォッシュ) を発表。



(株) フリーマム
佐賀

www.mom.co.jp

ゾーン：EVERYDAY E-08

フリーマムは、2000年創業以来、植物抽出成分などの原料にこだわり、品質、環境性、安全性の高い消臭・除菌、抗菌、防カビ剤など生活用品の開発から製造、販売まで行うメーカー。「KIELT」は、独自で開発した男性用スーツに特化した消臭剤。質の高いスーツに対し、その価値に見合ったケア剤を、という思いから生まれたプロダクト。植物原料使用、アルコール・塩素フリー。生地を傷めず消臭・防カビ効果を発揮。要望によりOEMやノベルティ製品にも対応。



タウントークポリッシュ/
チャタニジュアリー
東京

www.towntalkpolish.jp

ゾーン：EVERYDAY E-01

1895年創業、110余年の歴史を持つ英国発、貴金属品家庭用ポリッシュクリーナー総合メーカー、タウントーク社。欧州で何世代も愛用されてきた伝統的な銀器用ポリッシュ&クリーナーに加え、地球環境・人に優しいことを最優先ポリシーとし新商品開発をしている。特に液体クリーナーは、世界で最も自然環境保護に厳しいと定評のあるドイツ環境庁U.B.A.の認可を取得。大切な貴金属を美しく保つだけでなく、使う人にも優しい配慮がされている。新製品ジュエリークリーナー“ジュエルスパークルワンド（魔法の杖）”は、手軽に貴金属をケアできるペンタイプで使いやすい形状も魅力。



KUSU HANDMADE / (株) 中村
佐賀

www.kusuhandmade.com

ゾーン：EVERYDAY E-11

古くから「虫よけの木」として知られる楠（くすのき）。(株)中村では道路の拡張や森林整備で切り倒された楠を有効利用し、自社蒸留器でカンフルオイル（くすのき油）とカンフルパウダー（天然しょう油）を抽出、楠の端材でエコブロック（防虫ブロック）や防虫ハンガーなどと組み合わせ、防虫アロマブランド「KUSU HANDMADE」（クスハンドメイド）を展開している。精油を自社で抽出している経験から楠以外の精油の取り扱いやブレンドオイルの製造など生活に精油を取り入れる提案も行っている。本展ではKUSU HANDMADE ランドリーシリーズの新商品を展示予定。

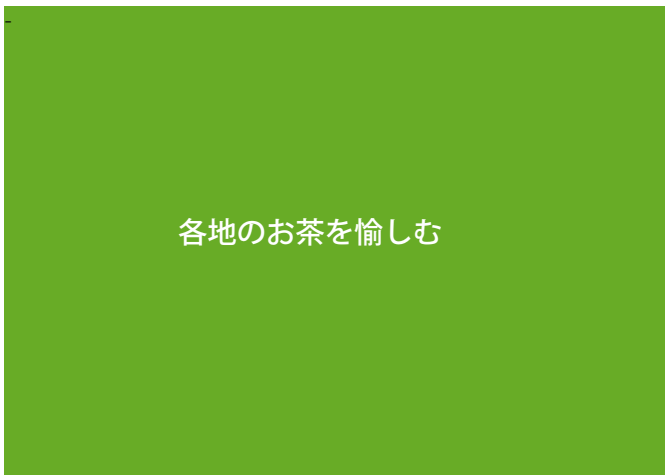


clokee / 日本コパック (株)
東京

www.copack.co.jp

ゾーン：EVERYDAY E-25

創業60年、アパレル小売業向けのハンガーや店舗什器メーカーが、これまで培った「服を見せる」というノウハウを「服と暮らす」に進化させ商品開発。洋服をクローゼットにしまいこむのではなく、リビングにおいて「服と暮らす」ことができるハンガーラックや衣料用ブラシなど、服を保管する道具やケアする道具など衣料周りのプロダクトを提案するブランド「clokee」をスタート。本展で初のお披露目となる。



各地のお茶を愉しむ



すすむ屋 茶店
鹿児島

susumuya.com

ゾーン：FOODIST F/F-01

日本茶の産地、薩摩・上之園町で、代々茶業を営む老舗問屋の家に生まれ、「鹿児島茶の父」として、鹿児島茶の発展に最も奇与した人物として語り継がれる新原仁次郎を祖父にもつ創業者が、お茶の魅力を多くの人に伝えるべく最高の茶葉のみを扱うすすむ屋茶店を2012年創業。生産人や焙煎人の方達と共に、美味しいお茶づくりに取り組んでいる。本展では、すすむ屋茶店オリジナルの茶葉をはじめ、オリジナルの急須、土瓶、湯飲み、マグカップなどお茶の時間をトータルで楽しむプロダクトを紹介。初出展。



カネ十農園
静岡

www.kaneju-farm.co.jp

ゾーン：アトリウム S-51

1888年創業の静岡県牧之原市の茶農園。日本一の茶処である牧之原台地に広がる茶畑は、温暖な気候、長い日照時間、水はけの良い弱酸性土壌など、茶葉の栽培にとって好条件が揃った環境で、自然の恵みをたっぷり含んだ、大きくて肉厚な生茶葉が特徴。茶葉はもっとおいしくなるはずと、五代目園主を先頭に、新たな茶葉づくりに挑戦。最初に収穫される一番茶のみを使用し、国内外の技術を学び、独自に開発した製茶法により仕上がることで、茶葉が持つ可能性を追求している。



日仏貿易 (株) パッカ モナン
イギリス (東京)

www.nbkk.co.jp

ゾーン：FOODIST F/F-16

世界各国で有機栽培された植物をブレンドしたハーブティーメーカー PUKKA (パッカ)。ヒンディー語で「本物」、「真正正銘」、「一番の品質」の意味を持ち、品質の良いオーガニックハーブ製品を扱う。ハーブティーは、アーユルヴェーダや西洋ハーブのスペシャリスト、セバスチャン・ポールによりブレンドされ、そのおいしさから近年では、グレート・テイスト・アワードを連続で受賞。自然環境を考慮し、一万人以上の提携農家とともに地球にやさしい生産活動を続ける。マザーカインドプレグナンシー有機ハーブティー、マザーカインドベビー有機ハーブティーを展開。



Steven Smith Teemaker
アメリカ（東京）
<http://smithtea.jp>
ゾーン：アトリウム S-48

アメリカ・ポートランドに拠点を持つスティーブンスミスティーメーカーは、米茶業界で40年以上のキャリアを持つ、スティーブンスミス氏が、お茶をひとつ上の芸術として形づくりたいという想いから立ち上げた高品質なフルリーフティーブランド。長年の経験を通して築き上げた彼の友人たちである世界中の生産者から、厳選した茶葉だけを集め、ポートランドのティーアトリエで、厳正な品質チェック、テイスティングのもと少量生産でブレンドを行う。紅茶はすべての産地が明確で、カートンごとにパッチナンバーが付されており、詳細を確認することができるなどこだわりが詰まっている。



umu design Inc.
東京
umu-design.jp
ゾーン：FOODIST F/F-18

「強い想いは、必ず届く」との考えのもと、商品企画からブランドの世界観などトータルでデザインし、長く愛されるブランドづくりをする umu design。日本文化を体現するお茶の魅力を次世代にも引き継ぐことを目指し、日常生活で「お茶でもどうぞ。」という会話があるように、気軽な気持ちで楽しめるお茶にまつわるブランド「世 SOU」をスタート。西多摩地区の茶畑で摘まれたメイド・イン・東京の煎茶の他、東京の伝統野菜「江戸東京野菜」をブレンドした新しいお茶を発表。

GLOBAL

その他、世界10ヶ国から海外パビリオンが出展。日本初上陸のブランドも多数登場しますので、あわせてご注目ください。

パビリオン出展国：

イギリス、イタリア、チュニジア、ドイツ、バングラデシュ、フィンランド、ポルトガル、ラトビア、リトアニア、台湾

OUTLINE

インテリア ライフスタイル 2018 開催概要

| | |
|----------|--|
| 会期 | 2018年5月30日（水）- 6月1日（金） |
| 会場 | 東京ビッグサイト 西1・2・3・4ホール+アトリウム |
| 時間 | 10:00 - 18:00（最終日は16:30まで） |
| 主催 | メッセフランクフルト ジャパン（株） |
| 出展者数 | 803社 / 30カ国・地域（4月16日現在） |
| URL | www.interior-lifestyle.com |
| Facebook | @interior.lifestyle |
| ハッシュタグ | #iltokyo |

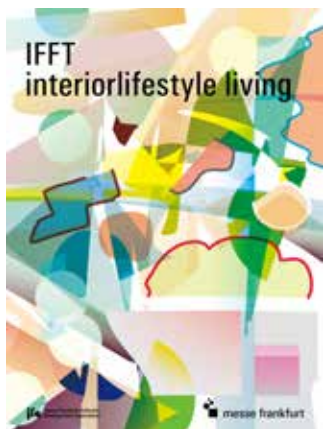
INFORMATION

特別インタビュー限定公開

今、あのバイヤーはどんな目線で買い付けをし、見本市をどう活用しているのか？ method inc. 山田遊氏、THE CONRAN SHOP 大野賢二氏に聞いた「バイイングの今」と「インテリア ライフスタイルの見どころ」を限定公開中！

http://files.mmfcservice.com/documents/ilt2018/ILT18_specialinterview.pdf

予 告 IFFT/ インテリア ライフスタイル リビング 2018 開催決定 出展募集スタート



会期 2018年11月14日(水) - 16日(金)

会場 東京ビッグサイト 西1・2・4ホール+アトリウム

時間 10:00 - 18:00 (最終日は17:00まで)

主催 (一社) 日本家具産業振興会
メッセフランクフルト ジャパン (株)

PRESS CONTACT

メッセフランクフルト ジャパン (株)
プレス担当 高橋 (愛) / 柏木
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F
Tel. 03-3262-8453 Fax. 03-3262-8442
Press@japan.messefrankfurt.com
www.jp.messefrankfurt.com/

デイリープレス
担当: 川村美帆 (かわむらみほ)
東京都目黒区青葉台 3-5-33 1F
tel. 03-6416-3201 / fax. 03-6416-3202
mihokawamura@dailypress.org